



**人工地形分類 Artificial Landform**

- 人工平地(切埋り造成地) Artificial ground (cut and fill)
  - 宅地等 Flatland for residential use
  - 農地等 Flatland for agricultural use
  - 切土地 Cut slope
  - 改変工事中の区域 Area under modification
  - 盛り地 Fill-up land
  - 埋立地 Reclaimed land
  - 人工水面 Artificial water surface
  - 旧谷線 Buried valley
- 自然地形分類 Natural landform**
  - 山地 Mountains
    - 山地斜面等 Mountain slopes
    - 麓斜面及び道維 Colluvial slope or Talus
  - 台地 Terraces and upland
    - 砂礫台地(更新世段丘) Gravel terrace (Pleistocene terrace)
    - 砂礫台地(完新世段丘) Gravel terrace (Alluvial terrace)
  - 低地 Lowland
    - 緩扇状地 Gentle alluvial fan
    - 扇状地 Alluvial fan
    - 谷底低地 Valley bottom
    - 氾濫原低地 Flood plain (back marsh)
    - 自然堤防 Natural levee
    - 旧河道 Abandoned channel
    - 湿地 Wetland
    - 三角州・海岸低地 Delta or Coastal lowland
    - 砂州・砂堆(礫州・礫堆) Sand bar
    - 天井川及び天井川沿いの微高地 Raised bed river
    - 河原・河川敷 Dry river bed
    - 浜 Beach
  - 水部 Water
    - 現水部 Recent water surface
    - 旧水部 Former water surface
  - 副分類 Subdivision of Natural landform
    - 崖 Cliff
    - 凹地・浅い谷 Shallow valley on terrace or alluvial fan

**摘要**

- 経緯度の基準は世界測地系
- 投影はユニバーサルメルカトル図法、座標帯は第53帯、中央子午線は東経135°
- 作業機関 国土地図株式会社
- 背景地図 数値地図50000(地図画像) 平成9年修正(高砂)、平成17年修正(明石)、平成18年更新(神戸)、平成18年修正(須磨)
- 対応する二次メッシュコード 513477,513570,513571,523407,523417,523500,523501,523510,523511

**行政区画**

**索引図**

北条	三田	広根
(姫路)	(京都&大阪)	
高砂	神戸	大阪西北部
明石	須磨	大阪西南部
(徳島)	(和歌山)	

( )内は所属20万分1地勢図名

1:50,000 神戸・明石

平成二十五年 度調査

平成二十六年 三月発行

国土交通省 国土政策局

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図、数値地図50000(地図画像)、数値地図25000(土地条件)及び基礎地図情報を使用した。(承認番号 平25情使、第919号)」

- 自然地形分類は、1:25000土地条件図「神戸」「高砂」(国土地理院、1966)を基礎資料として編集したものである。編集にあたっては、以下の既存資料を参考に、空中写真の補正判読により修正を行った。1:25000土地条件図「神戸」「高砂」:国土地理院(1966)、5万分1土地分類基本調査(地形分類図)「神戸」「高砂」(須磨・明石・洲本)、兵庫県。判読に使用した空中写真はM265(昭22.4.26米軍撮影)、M289(昭22.5.10米軍撮影)、M306(昭22.9.23米軍撮影)。
- 人工地形分類は、2.75千分の1地形図「三木」(平19年更新)、「東二見」(平16年更新)、「明石」(平17年更新)、「淡河」(平15年更新)、「前開」(平15年更新)、「須磨」(平17年更新)、「有馬」(平11年更新)、「神戸首部」(平15年更新)、「神戸南部」(平18年更新)の図面及び空中写真(CKT-2006-4K、国土地理院)の補正判読により作成したもので、2023年(令和5年)の地形の状況を反映している。
- 本図の作成にあたっては、奈良大学の海津正倫教授、大阪市立大学の三田村宗明教授、兵庫県立大学の自然の博物館の加藤茂弘主任研究員の指導をいただいた。